

製品安全性データシート

1. 化学製品及び会社情報

製品名 : フレックスカートリッジ クレアチニン CREA (CREA Flex® reagent cartridge)
 品目コード : DF33A/K1033
 会社名 : シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
 住所 : 〒141-8673 東京都品川区東五反田 3-20-14
 電話番号 : 03-3537-3939 コールセンター
 改定番号 : 3.0

2. 組成、構成、成分情報

物質/製剤

構成成分	CAS番号	含有量 %	化学式	官報公示整理番号		PRTR 種別-政令番号
				化審法	安衛法	
水酸化ナトリウム sodium hydroxide	1310-73-2	7.39	H-Na-O	(1)-410	---	---

提供者の現在の知識の範囲及び使用される濃度では、本製品の成分または補足的な成分の中に健康または環境に対して有害な物質として分類されることを理由にこのセクションでの報告が義務づけられている成分はありません。

3. 危険有害性の要約

危険有害性分類 : 猛毒性
腐食性物質

急性作用

吸入した場合 : 呼吸器系に対して非常に刺激性のあるガスや蒸気、粉塵を放出することがある。分解生成物に暴露すると、健康を害することがある。爆発に続いて重大な影響が遅れて発生することがある。

飲み込んだ場合 : 口、喉および胃に火傷を起こすことがある。

皮膚 : 皮膚を激しく腐食。重度のやけどを引き起こす。

眼 : 眼に対して極めて腐食性。重度のやけどを引き起こす。

健康への慢性効果の可能性

慢性作用 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

発癌性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

発育への影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖能力に対する影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰暴露の徴候/症状

吸入した場合 : 明確なデータは無い。

飲み込んだ場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胃痛

皮膚 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み及び刺激、発赤、水ぶくれになることがある。

眼 : 有害症状には以下の症状が含まれる:

痛み、流涙、発赤

4. 応急措置

- 吸入した場合** : 直ちに医師の診断を受ける。暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
- 飲み込んだ場合** : 直ちに医師の診断を受ける。水で口を洗浄する。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。
- 皮膚に接触した場合** : 直ちに医師の診断を受ける。多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。少なくとも10分間洗い流し続ける。汚染された衣服および靴を脱がせる。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。衣類は、再着用の前に洗濯する。
- 眼に入った場合** : 直ちに医師の診断を受ける。すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。
- 応急処置者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服は脱ぐ前に水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
- 医師への注記事項** : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

消化媒体

適切 : 火災に応じた消化剤を使用する。

不適切 : 認知済みのものは無し。

暴露による特定の危険有害性: 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。一致するものはない。

有害危険性燃焼生成物: 分解生成物には以下の物質が含まれることがある。

炭素酸化物

窒素酸化物類

金属酸化物

消防士用の特殊保護具: 消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具(SCBA)を装着しなければならない。

6. 漏出事故時の措置

- 個人保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。
- 環境予防措置** : 漏出した物質や流去水の拡散、及び土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。
- 大量流出** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。放出現場には風下から近づいてはならない。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同

じ危険性を引き起こすことがある。

注意：接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

- 少量流出** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水で希釈してから拭き取るか、もしくは乾燥した不活性物質で吸い取り、適切な廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。換気が十分な場所でのみ使用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。容器を再利用してはならない。
- 保管** : 現地法に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を防ぎ、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保存する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

職業暴露限界

成分名	暴露限界
水酸化ナトリウム (Sodium hydroxide)	JSOH(日本、5/2006) OEL-C: 2mg/m ³

推奨されるモニター措置 : 当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、及び呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

設備対策 : ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

衛生措置 : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙及びトイレの使用前及び作業時間の最後に、必ず手、前腕及び顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

個人保護

- 呼吸器系** : リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。
- 手** : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼** : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。
- 皮膚** : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

環境暴露管理 : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げるために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 液体。

融点 : 分解します。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 製品は安定である。通常の保管及び使用条件の下では、有害な重合は起こらない。
回避すべき条件 : 明確なデータは無い。
回避すべき物質 : 明確なデータは無い。
危険有害性分解物質 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 毒性情報

急性毒性
結論/要約 : データなし。
慢性毒性
結論/要約 : データなし。
発癌性
結論/要約 : データなし。
催奇性
結論/要約 : データなし。
変異原性
結論/要約 : データなし。
生殖毒性
結論/要約 : データなし。

12. 環境影響情報

環境作用 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

水中毒性

製品 / 成分の名称	テスト	種類	結果	暴露時間
水酸化ナトリウム	-	急性 EC50 40.34~ 47.13mg/L 真水	ミジンコ属 - Ceriodaphnia dubia	48時間
	-	急性 LC50 125000ug/L 真水	魚類 - Gambusia affinis	96時間

結論/要約 : データなし



生物分解性

結論/要約 : 自然界の水中に放出してはならない。
その他の悪影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液及びあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護及び廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、及び現地法の定める要求事項に従わなければならない。漏出した物質や流去水の拡散、及び土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

適用法令	国連番号	輸送固有名	クラス	PG*	ラベル	追加情報
MDGクラス	1824	Sodium hydroxide solution (sodium hydroxide)	8	II		-
IATAクラス	1824	Sodium hydroxide solution (sodium hydroxide)	8	II		-

PG* : パッキンググループ

15. 適用法令

- 船舶安全法 : 腐食性物質(危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1)
航空法 : 腐食性物質(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)
薬事法 : 劇薬

ラベル要素

絵表示又はシンボル :



- 注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。重篤な眼の損傷。呼吸器系の障害。水生生物に有害。
注意書き : [安全対策] 適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。使用中に吸入されうる粒子が発生するかもしれない場合は、粉じんを吸入しないこと。粉じん、ヒュームを吸入しないこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。環境への放出を避けること。
[救急処置] 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。皮膚又は毛に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。皮膚に付着した場合、直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。取扱い後はよく手を洗うこと。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
[保管] 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
[廃棄] 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

17. その他の情報

注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。あらゆる物質の適合性は、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

改定履歴

年月日	改定内容	改定理由